

## 令和7年度都立世田谷総合高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	言語感覚の向上、伝え合う力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科会での指導内容の確認共有</li> <li>各科目での小テストの実施</li> <li>計画的な班活動、発表活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字能力検定試験の校内実施</li> <li>大学等の小論文コンクールへの参加</li> <li>全員参加のビブリオバトルの実施</li> </ul>
地理歴史	社会的な見方・考え方を働かせた活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月の教科会等で、指導計画について各教員が情報を共有する</li> <li>主体的に課題に取り組み、解決に向かう力を身に付けさせるため、年間をとおして3回以上探究活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科を越えた教員相互の授業参観の実施</li> <li>年間をとおした教科内研修の実施と授業改善</li> </ul>
公民	社会的な見方・考え方を働かせた活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月の教科会等で、指導計画について各教員が情報を共有する</li> <li>主体的に課題に取り組み、解決に向かう力を身に付けさせるため、年間をとおして3回以上探究活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科を越えた教員相互の授業参観の実施</li> <li>年間をとおした教科内研修の実施と授業改善</li> <li>一人一台端末を活かした取り組みを実施</li> </ul>
数学	基礎基本となる「知識・技能」の習得の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な演習課題を課し、校内外での学習習慣の確立と反復演習による定着度向上</li> <li>問題解決の過程の重要性を理解させるため、解き直しや教え合いの活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書やICT端末の活用による、生徒の基礎学習力向上と応用力の醸成</li> </ul>
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら積極的に課題を見出し、探究活動に取り組む姿勢を育む教育計画の作成</li> <li>主体的に課題に取り組み、解決に向かう力を身に付けさせるため、年間をとおして3回以上実験、観察等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科を越えた教員相互の授業参観の実施</li> <li>授業の進行に合わせた実験、観察の工夫と実践</li> <li>一人一台端末を活かした調査や実験データ整理の取り組み</li> </ul>
保健体育	生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解とともに、技能を身に付けるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになる</li> </ul>
美術	美術の活動を通し物の見方考え方を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間を見通し、計画立てた課題構成で、基礎から応用までの力を育む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間の学びで、美術大学合格レベルの力を身に着けさせる</li> </ul>
英語	各自の能力に応じた実用英語技能検定の取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>各Lessonの後の課末活動としての英検型ライティングやリテリングの実施</li> <li>考査内での英検ライティングを出題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>準会場として実用英語技能検定の全員受験</li> <li>長期休業中における英検対策講座の開講</li> <li>二次面接対策の指導</li> </ul>
家庭	生涯を見通し、生活課題を解決する力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を意識した問いや、考えを共有する授業を実施する</li> <li>ホームプロジェクトを実施し、生活課題を見つけて改善するための実践を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい生活の実現に向け、実践的な態度を養い、授業内や家庭での実習をする</li> <li>実践的な取り組みをグループで実施し、発表することで活動を共有する</li> </ul>
情報	日進月歩する情報社会について科学的に学び、活用する態度を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の教材の研究と開発</li> <li>M365の有効活用(課題配信)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門教科にて、自分にとって必要な情報の収集とそれらの活用する能力</li> <li>情報を正しく発表、発信する能力</li> </ul>
工業	「ものづくり」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の設計や機械の操作などの技能を学び、ものづくりの大切さ・喜びを味わい、技能の継承と発展を図る意欲的な態度を養う取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを活用し数値制御の基本を理解させ、CADやレーザー加工機などの技術を習得させる取り組み</li> </ul>

### (4) 教科指導の重点

#### ア 様式

記載例（別添3）を参考に、各教科で協議・決定した教科指導の重点を、様式例（別添3）又は自校の様式で作成する。

#### イ 作成する教科

全ての教科で作成することを原則とする。

#### ウ ホームページへの掲載

- 令和7年5月30日（金）までに行う。その際は、容量等に十分注意し、適切な方法で実施する。
- 掲載する教科は各学校で適切に判断する。

#### エ 作成の際の留意点

- 学力検査やESAT-J等の入試結果を活用するなど、入学者の実態に応じた取組などを記載
- 重点課題：令和7年度、特に力を入れて取り組むべき内容等について、学習指導要領に基づき記載
  - 【例】「話すこと」の指導の充実（英語）、数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動（数学）
  - 【例】「組」：重点課題の解決に向けた具体的な取組を記載【令和7年度、確実に実施する取組】
  - 【例】校内の短歌コンテストの開催（国語）、「学期に2回パフォーマンステスト実施」（英語）
- 発展的取組：重点課題の解決に向けた発展的な取組を記載
  - 【例】情報IIで民間のプログラミングコンテストに参加（情報）
  - 【例】大学研究室訪問を実施し、探究の方法について学ぶ（理科）